

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2003年3月14日設定）	
運用方針	豪ドル債券インカムマザーファンド受益証券への投資を通じて、主として高格付の豪ドル建ての公社債に実質的な投資を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベビーファンド	豪ドル債券インカムマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	豪ドル建ての公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の利子等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、原則として、配当等収益や分配対象額の水準等を考慮し、安定した分配を継続することをめざします。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、基準価額水準、運用状況等によっては安定した分配とならないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン

愛称：夢実月

第240期（決算日：2023年4月10日）
 第241期（決算日：2023年5月8日）
 第242期（決算日：2023年6月8日）
 第243期（決算日：2023年7月10日）
 第244期（決算日：2023年8月8日）
 第245期（決算日：2023年9月8日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン」は、去る9月8日に第245期の決算を行いましたので、法令に基づいて第240期～第245期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決算期	基 (分配落)	準 価 額			債 組 入 比	券 率 率	債 先 物 比	券 率 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 騰 落					
	円		円		%	%	%	百万円	
216期(2021年4月8日)	4,412		20		0.3	97.7	—	68,947	
217期(2021年5月10日)	4,485		20		2.1	97.6	—	68,378	
218期(2021年6月8日)	4,431		20		△0.8	96.8	—	65,814	
219期(2021年7月8日)	4,282		20		△2.9	98.0	—	62,150	
220期(2021年8月10日)	4,185		20		△1.8	97.7	—	59,722	
221期(2021年9月8日)	4,193		20		0.7	97.6	—	58,864	
222期(2021年10月8日)	4,165		20		△0.2	97.1	—	57,630	
223期(2021年11月8日)	4,196		20		1.2	98.4	—	56,777	
224期(2021年12月8日)	4,015		20		△3.8	97.1	—	53,531	
225期(2022年1月11日)	4,089		20		2.3	97.7	—	53,884	
226期(2022年2月8日)	4,003		20		△1.6	97.6	—	52,229	
227期(2022年3月8日)	4,082		20		2.5	97.0	△4.5	52,900	
228期(2022年4月8日)	4,335		20		6.7	97.0	△3.1	54,575	
229期(2022年5月9日)	4,215		20		△2.3	98.3	—	51,792	
230期(2022年6月8日)	4,376		20		4.3	97.1	—	53,442	
231期(2022年7月8日)	4,261		20		△2.2	97.2	—	51,261	
232期(2022年8月8日)	4,282		20		1.0	97.1	—	51,151	
233期(2022年9月8日)	4,384		20		2.8	97.2	—	51,929	
234期(2022年10月11日)	4,107		20		△5.9	96.7	—	47,984	
235期(2022年11月8日)	4,228		20		3.4	96.8	—	49,081	
236期(2022年12月8日)	4,106		20		△2.4	97.5	—	47,548	
237期(2023年1月10日)	4,039		20		△1.1	97.3	—	46,585	
238期(2023年2月8日)	4,046		20		0.7	97.4	—	46,358	
239期(2023年3月8日)	3,989		20		△0.9	97.3	—	45,463	
240期(2023年4月10日)	3,941		20		△0.7	97.1	—	44,711	
241期(2023年5月8日)	4,039		20		3.0	96.7	—	45,757	
242期(2023年6月8日)	4,045		20		0.6	97.9	△1.4	45,566	
243期(2023年7月10日)	4,063		10		0.7	97.3	△1.4	45,204	
244期(2023年8月8日)	4,064		10		0.3	97.1	—	44,634	
245期(2023年9月8日)	4,046		10		△0.2	97.0	—	43,795	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
第240期	(期 首) 2023年3月8日	円 3,989		% —		% 97.3	—
	3月末	3,999		0.3		96.6	—
	(期 末) 2023年4月10日	3,961		△0.7		97.1	—
第241期	(期 首) 2023年4月10日	3,941		—		97.1	—
	4月末	3,955		0.4		96.4	—
	(期 末) 2023年5月8日	4,059		3.0		96.7	—
第242期	(期 首) 2023年5月8日	4,039		—		96.7	—
	5月末	3,993		△1.1		97.3	—
	(期 末) 2023年6月8日	4,065		0.6		97.9	△1.4
第243期	(期 首) 2023年6月8日	4,045		—		97.9	△1.4
	6月末	4,137		2.3		96.8	△1.4
	(期 末) 2023年7月10日	4,073		0.7		97.3	△1.4
第244期	(期 首) 2023年7月10日	4,063		—		97.3	△1.4
	7月末	4,056		△0.2		96.6	—
	(期 末) 2023年8月8日	4,074		0.3		97.1	—
第245期	(期 首) 2023年8月8日	4,064		—		97.1	—
	8月末	4,100		0.9		96.5	—
	(期 末) 2023年9月8日	4,056		△0.2		97.0	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

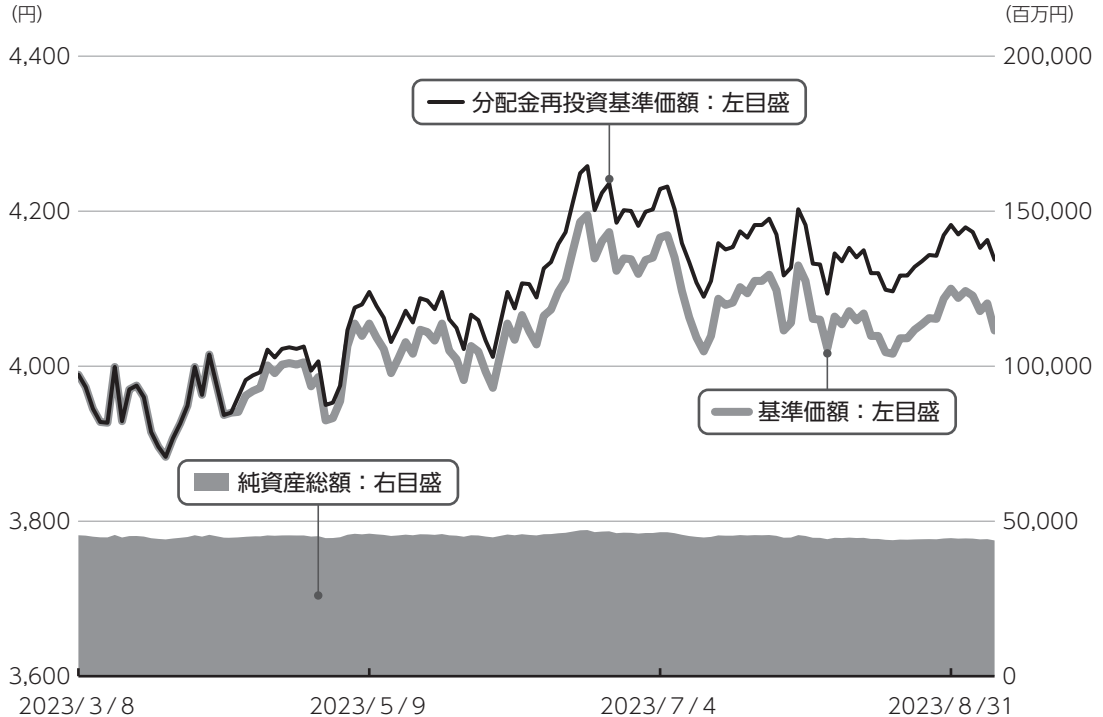
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第240期～第245期：2023年3月9日～2023年9月8日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第240期首	3,989円
第245期末	4,046円
既払分配金	90円
騰落率	3.7%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ3.7%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

債券利子収益を享受したことや、豪ドルが対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

豪州金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

第240期～第245期：2023年3月9日～2023年9月8日

投資環境について

▶ 債券市況

豪州金利は、上昇しました。

期間の初めに、一部銀行の破綻を背景とした米国の金融システム不安などから、豪州金利は低下した局面もありましたが、豪州準備銀行（RBA）が2023年5月、6月の金融政策決定会合で政策金利を引き上げたことや、米国で金融引き締め観測が高まったことなどから米国長期金利

が上昇したことを受けて、豪州金利は上昇しました。

▶ 為替市況

豪ドルは対円で上昇しました。

RBAが政策金利を複数回引き上げ、本邦との金利差が拡大したことなどから、豪ドルは対円で上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン

主要投資対象である豪ドル債券インカムマザーファンド受益証券への投資を通じて、豪ドル建ての信用度の高い公社債を高位に組み入れた運用を行いました。

▶ 豪ドル債券インカムマザーファンド

期間を通じて、豪ドル建ての債券現物の組入比率は高位を維持しました。

デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

ファンド全体のデュレーションは、豪州や米国などの金融政策、インフレ動向などを注視しながら操作しました。結果、期間末のデュレーションは3.0年程度となっています。

残存期間構成

イールドカーブの傾きに注目するとともに、デュレーションを短期化する局面では短期ゾーンの組入比率を高めとし、長期化する局面では中長期ゾーンの組入比率を高めとしました。

債券種別構成

豪州国債に対する相対的なスプレッド（利回り格差）動向を睨みながら、債券種別構成を調整しました。当期間は、国債の組入比率を引き下げ、州政府債などの非国債の組入比率を引き上げました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第240期 2023年3月9日~ 2023年4月10日	第241期 2023年4月11日~ 2023年5月8日	第242期 2023年5月9日~ 2023年6月8日	第243期 2023年6月9日~ 2023年7月10日	第244期 2023年7月11日~ 2023年8月8日	第245期 2023年8月9日~ 2023年9月8日
当期分配金 (対基準価額比率)	20 (0.505%)	20 (0.493%)	20 (0.492%)	10 (0.246%)	10 (0.245%)	10 (0.247%)
当期の収益	8	10	10	10	8	7
当期の収益以外	12	10	9	—	1	2
翌期繰越分配対象額	372	362	352	353	352	350

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ 三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン

豪ドル債券インカムマザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ち、マザーファンドのポートフォリオの構成に近づけた状態を維持する方針です。

▶ 豪ドル債券インカムマザーファンド 組入比率

安定した利子収益の確保をめざし、引き続き債券現物の高位組み入れを維持する方針です。

デュレーション

豪州の金融政策の方向性、グローバルな景気・インフレ動向を睨みながら、機動的に操作する方針です。

残存期間構成

デュレーションを長期化する局面では中長期ゾーンを、短期化する局面では短期ゾーンの組入比率を高めとする方針です。

債券種別構成

国債に対する相対的なスプレッド動向や市場のボラティリティ変動要因などに注視し、必要に応じて組入比率を調整する方針です。

2023年3月9日～2023年9月8日

1万口当たりの費用明細

項目	第240期～第245期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	24	0.582	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(11)	(0.270)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(11)	(0.285)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.028)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.000	(b) 売買委託手数料 = 作成期中の売買委託手数料 ÷ 作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(先物・オプション)	(0)	(0.000)	
(c) その他費用	0	0.007	(c) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.004)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	24	0.589	

作成期中の平均基準価額は、4,038円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

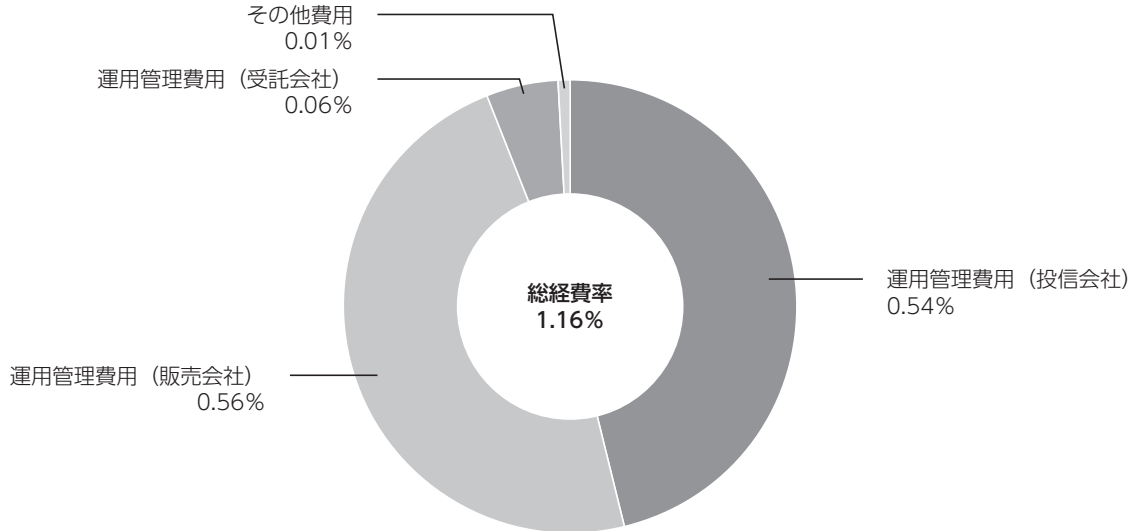
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.16%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年3月9日～2023年9月8日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第240期～第245期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
豪ドル債券インカムマザーファンド	159,031	192,205	3,068,938	3,786,787

○利害関係人との取引状況等

(2023年3月9日～2023年9月8日)

利害関係人との取引状況

<三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン>

該当事項はございません。

<豪ドル債券インカムマザーファンド>

区 分	第240期～第245期					
	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$		
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	—	—	—	3,935	2,283	58.0

平均保有割合 96.4%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2023年9月8日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第239期末		第245期末	
	口 数		口 数	
	千口		千口	
			評 価 額	
			千円	
豪ドル債券インカムマザーファンド	37,896,871	34,986,963	43,688,221	

○投資信託財産の構成

(2023年9月8日現在)

項 目	第245期末	
	評 価 額	比 率
豪ドル債券インカムマザーファンド	千円 43,688,221	% 99.3
コール・ローン等、その他	327,417	0.7
投資信託財産総額	44,015,638	100.0

(注) 豪ドル債券インカムマザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産(45,145,986千円)の投資信託財産総額(45,443,494千円)に対する比率は99.3%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=93.82円			
--------------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第240期末	第241期末	第242期末	第243期末	第244期末	第245期末
	2023年4月10日現在	2023年5月8日現在	2023年6月8日現在	2023年7月10日現在	2023年8月8日現在	2023年9月8日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	45,027,660,369	46,079,280,333	45,868,857,044	45,427,378,963	44,819,010,036	44,015,638,495
コール・ローン等	167,122,668	182,958,707	171,779,492	160,717,618	146,218,780	154,166,417
豪ドル債券インカムマザーファンド(評価額)	44,605,691,298	45,654,403,652	45,453,402,406	45,094,567,057	44,529,102,531	43,688,221,854
未収入金	254,846,403	241,917,974	243,675,146	172,094,288	143,688,725	173,250,224
(B) 負債	316,450,228	322,233,954	302,725,020	223,325,555	184,227,045	220,415,958
未払収益分配金	226,910,830	226,558,214	225,311,115	111,263,783	109,830,120	108,248,372
未払解約金	42,418,237	55,362,183	32,653,475	65,085,947	32,846,319	68,513,925
未払信託報酬	46,933,412	40,152,483	44,581,856	46,788,554	41,384,706	43,479,418
未払利息	29	471	259	127	369	336
その他未払費用	187,720	160,603	178,315	187,144	165,531	173,907
(C) 純資産総額(A-B)	44,711,210,141	45,757,046,379	45,566,132,024	45,204,053,408	44,634,782,991	43,795,222,537
元本	113,455,415,333	113,279,107,164	112,655,557,934	111,263,783,873	109,830,120,520	108,248,372,619
次期繰越損益金	△ 68,744,205,192	△ 67,522,060,785	△ 67,089,425,910	△ 66,059,730,465	△ 65,195,337,529	△ 64,453,150,082
(D) 受益権総口数	113,455,415,333口	113,279,107,164口	112,655,557,934口	111,263,783,873口	109,830,120,520口	108,248,372,619口
1万口当たり基準価額(C/D)	3,941円	4,039円	4,045円	4,063円	4,064円	4,046円

○損益の状況

項 目	第240期	第241期	第242期	第243期	第244期	第245期
	2023年3月9日～ 2023年4月10日	2023年4月11日～ 2023年5月8日	2023年5月9日～ 2023年6月8日	2023年6月9日～ 2023年7月10日	2023年7月11日～ 2023年8月8日	2023年8月9日～ 2023年9月8日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 2,115	△ 5,370	△ 8,460	△ 8,614	△ 7,195	△ 8,627
受取利息	104	—	—	250	25	232
支払利息	△ 2,219	△ 5,370	△ 8,460	△ 8,864	△ 7,220	△ 8,859
(B) 有価証券売買損益	△ 267,178,945	1,379,856,652	331,628,496	355,833,385	163,715,943	△ 44,995,291
売買益	4,466,787	1,387,442,382	334,313,129	374,919,923	172,723,336	3,799,847
売買損	△ 271,645,732	△ 7,585,730	△ 2,684,633	△ 19,086,538	△ 9,007,393	△ 48,795,138
(C) 信託報酬等	△ 47,121,132	△ 40,313,086	△ 44,760,171	△ 46,975,698	△ 41,550,237	△ 43,653,325
(D) 当期繰越損益 (A+B+C)	△ 314,302,192	1,339,538,196	286,859,865	308,849,073	122,158,511	△ 88,657,243
(E) 前期繰越損益	△10,934,830,068	△11,264,103,633	△ 9,899,894,752	△ 9,574,615,272	△ 9,227,271,410	△ 9,058,160,950
(F) 追加信託差損益金	△57,268,162,102	△57,370,937,134	△57,251,079,908	△56,682,700,483	△55,980,394,510	△55,198,083,517
(配当等相当額)	(4,354,433,821)	(4,212,188,968)	(4,076,757,283)	(3,926,989,920)	(3,876,782,602)	(3,812,745,079)
(売買損益相当額)	(△61,622,595,923)	(△61,583,126,102)	(△61,327,837,191)	(△60,609,690,403)	(△59,857,177,112)	(△59,010,828,596)
(G) 計 (D+E+F)	△68,517,294,362	△67,295,502,571	△66,864,114,795	△65,948,466,682	△65,085,507,409	△64,344,901,710
(H) 収益分配金	△ 226,910,830	△ 226,558,214	△ 225,311,115	△ 111,263,783	△ 109,830,120	△ 108,248,372
次期繰越損益 (G+H)	△68,744,205,192	△67,522,060,785	△67,089,425,910	△66,059,730,465	△65,195,337,529	△64,453,150,082
追加信託差損益金	△57,404,308,600	△57,484,216,241	△57,352,469,910	△56,682,700,483	△55,988,980,111	△55,220,837,892
(配当等相当額)	(4,218,717,775)	(4,099,261,727)	(3,976,110,138)	(3,927,355,956)	(3,868,456,568)	(3,790,110,618)
(売買損益相当額)	(△61,623,026,375)	(△61,583,477,968)	(△61,328,580,048)	(△60,610,056,439)	(△59,857,436,679)	(△59,010,948,510)
分配準備積立金	5,366,485	7,307,124	296,800	9,954,977	—	—
繰越損益金	△11,345,263,077	△10,045,151,668	△ 9,737,252,800	△ 9,386,984,959	△ 9,206,357,418	△ 9,232,312,190

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 113,978,137,859円
 作成期中追加設定元本額 3,074,592,796円
 作成期中一部解約元本額 8,804,358,036円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.4046円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は64,453,150,082円です。

③分配金の計算過程

項 目	2023年3月9日～ 2023年4月10日	2023年4月11日～ 2023年5月8日	2023年5月9日～ 2023年6月8日	2023年6月9日～ 2023年7月10日	2023年7月11日～ 2023年8月8日	2023年8月9日～ 2023年9月8日
費用控除後の配当等収益額	93,539,375円	115,234,912円	116,614,319円	120,864,875円	91,222,281円	85,493,997円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	4,354,864,273円	4,212,540,834円	4,077,500,140円	3,927,355,956円	3,877,042,169円	3,812,864,993円
分配準備積立金額	2,591,442円	5,351,319円	7,603,594円	353,885円	10,022,238円	—円
当ファンドの分配対象収益額	4,450,995,090円	4,333,127,065円	4,201,718,053円	4,048,574,716円	3,978,286,688円	3,898,358,990円
1万口当たり収益分配対象額	392円	382円	372円	363円	362円	360円
1万口当たり分配金額	20円	20円	20円	10円	10円	10円
収益分配金金額	226,910,830円	226,558,214円	225,311,115円	111,263,783円	109,830,120円	108,248,372円

○分配金のお知らせ

	第240期	第241期	第242期	第243期	第244期	第245期
1 万口当たり分配金（税込み）	20円	20円	20円	10円	10円	10円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お 知 ら せ】

三菱UFJ国際投信株式会社は、2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更します。

豪ドル債券インカムマザーファンド

《第10期》決算日2023年3月8日

[計算期間：2022年3月9日～2023年3月8日]

「豪ドル債券インカムマザーファンド」は、3月8日に第10期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第10期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主として高格付の豪ドル建ての公社債に投資を行います。 投資にあたっては、オーストラリアの国債、政府機関債、AA格相当以上の格付を有する州政府債および政府保証債等、ならびにオーストラリア以外のAA格相当以上の格付を有する政府機関債および国際機関債等に分散投資を行います。 運用にあたっては、ポートフォリオの平均デュレーションを1年以上5年以内とします。 デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	豪ドル建ての公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純総資産額
		期騰	期中率			
6期(2019年3月8日)	円		%	%	%	百万円
	10,182		△ 2.4	97.8	—	102,776
7期(2020年3月9日)	9,228		△ 9.4	97.9	—	76,855
8期(2021年3月8日)	11,558		25.2	96.5	△1.6	73,999
9期(2022年3月8日)	11,433		△ 1.1	97.2	△4.5	54,848
10期(2023年3月8日)	11,967		4.7	97.6	—	47,100

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基準価額		債組入比率	債券優先物比率	債券率
			騰	落率			
	(期首)		円	%			%
	2022年	3月8日	11,433	—	97.2		△4.5
	3月末		12,181	6.5	98.2		△3.1
	4月末		12,048	5.4	97.9		△3.1
	5月末		12,080	5.7	97.1		—
	6月末		12,187	6.6	96.8		—
	7月末		12,396	8.4	97.6		—
	8月末		12,402	8.5	96.9		—
	9月末		12,176	6.5	97.1		—
	10月末		12,415	8.6	97.4		—
	11月末		12,189	6.6	96.9		—
	12月末		11,701	2.3	97.0		—
	2023年	1月末	12,175	6.5	97.6		—
	2月末		12,060	5.5	96.8		—
	(期末)						
	2023年	3月8日	11,967	4.7	97.6		—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券優先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ4.7%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

豪ドルが対円で上昇したことや債券利子収益を享受したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

豪州金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎債券市況

- ・豪州金利は上昇しました。
- ・豪州準備銀行（RBA）が目標を上回るインフレを抑制するために、複数回の利上げを実施したことなどから、豪州金利は短期ゾーン中心に上昇しました。

◎為替市況

- ・豪ドルは対円で上昇しました。
- ・豪州金利が上昇し本邦との金利差が拡大したことなどから、豪ドルは対円で上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・期間を通じて、豪ドル建ての債券現物の組入比率は高位を維持しました。なお、デュレーション（平均回収期間や金利感応度）調整のため、債券先物も活用しました。

◎デュレーション

- ・ファンド全体のデュレーションは、豪州や米国などの金融政策、インフレ動向などを注視しながら操作しました。結果、期間末のデュレーションは3.0年程度となっています。

◎残存期間構成

- ・イールドカーブの傾きに注目するとともに、デュレーションを短期化する局面では短期ゾーンの組入比率を高めとし、長期化する局面では中長期ゾーンの組入比率を高めとしました。

◎債券種別構成

- ・豪州国債に対する相対的なスプレッド（利回り格差）動向を睨みながら、債券種別構成を調整しました。当期間は、国債の組入比率を引き上げ、国際機関債や州政府債などの非国債の組入比率を引き下げました。

○今後の運用方針

（組入比率）

- ・安定した利子収益の確保をめざし、引き続き債券現物の高位組み入れを維持する方針です。

（デュレーション）

- ・豪州の金融政策の方向性、グローバルな景気・インフレ動向を睨みながら、機動的に操作する方針です。

（残存期間構成）

- ・デュレーションを長期化する局面では中長期ゾーンを、短期化する局面では短期ゾーンの組入比率を高めとする方針です。

（債券種別構成）

- ・国債に対する相対的なスプレッド動向や市場のボラティリティ変動要因などに注視し、必要に応じて組入比率を調整する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2022年3月9日～2023年3月8日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション)	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0)	0.009 (0.009) (0.000)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	1	0.009	
期中の平均基準価額は、12,150円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年3月9日～2023年3月8日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	オーストラリア		千オーストラリアドル	千オーストラリアドル
		国債証券	353,703	239,690
		特殊債券	104,770	305,536

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

先物取引の種類別取引状況

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外 国	債券先物取引	百万円 -	百万円 -	百万円 -	百万円 2,567

(注) 外国の取引金額は、各月末(決算日の属する月の月初から決算日までの分については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2022年3月9日～2023年3月8日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	271	—	—	10,742	4,147	38.6

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2023年3月8日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
オーストラリア	千オーストラリアドル 514,000	千オーストラリアドル 508,234	千円 45,964,683	% 97.6	% —	% 8.4	% 73.3	% 15.9
合 計	514,000	508,234	45,964,683	97.6	—	8.4	73.3	15.9

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末						償還年月日
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
オーストラリア	%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円			
国債証券	0.5 AUST GOVT 260921	0.5	10,000	9,042	817,765	2026/9/21	
	1 AUST GOVT 301221	1.0	5,000	4,120	372,621	2030/12/21	
	1.75 AUST GOVT 321121	1.75	10,000	8,434	762,804	2032/11/21	
	2.75 AUST GOVT 271121	2.75	35,000	33,975	3,072,769	2027/11/21	
	3.25 AUST GOVT 250421	3.25	45,000	44,883	4,059,262	2025/4/21	
	4.25 AUST GOVT 260421	4.25	80,000	82,064	7,421,934	2026/4/21	
	4.75 AUST GOVT 270421	4.75	55,000	57,808	5,228,212	2027/4/21	
特殊債券	1.1 ASIAN DEV 240815	1.1	10,000	9,593	867,627	2024/8/15	
	1.45 INTL FINAN 240722	1.45	10,000	9,660	873,733	2024/7/22	
	1.5 NEWSWALES 320220	1.5	15,000	11,869	1,073,458	2032/2/20	
	1.7 EIB 241115	1.7	10,000	9,630	870,938	2024/11/15	
	1.95 IADB 240423	1.95	10,000	9,772	883,866	2024/4/23	

銘	柄	当 期 末				
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
オーストラリア		%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円	
	特殊債券					
	2.5 WEST AUST TRE 240723	2.5	5,000	4,916	444,605	2024/7/23
	3 SOUTH AUST GOVT 260720	3.0	15,000	14,650	1,324,960	2026/7/20
	3 WEST AUST TREAS 261021	3.0	30,000	29,267	2,646,957	2026/10/21
	3.25 QUEENSLAND 260721	3.25	40,000	39,395	3,562,927	2026/7/21
	3.5 QUEENSLAND 300821	3.5	15,000	14,475	1,309,163	2030/8/21
	3.75 ASIAN DEVELO 250312	3.75	20,000	19,894	1,799,213	2025/3/12
	4 INTL FINANCE CO 250403	4.0	15,000	14,994	1,356,125	2025/4/3
	4.2 EIB 280821	4.2	5,000	5,004	452,563	2028/8/21
	4.25 INTL BK RECO 250624	4.25	10,000	10,054	909,292	2025/6/24
	4.25 LANDWIRTSCH 250109	4.25	20,000	20,094	1,817,362	2025/1/9
	4.5 KOMMUNALBANKE 230417	4.5	5,000	5,003	452,545	2023/4/17
	4.75 AFRICAN DEVE 240306	4.75	10,000	10,060	909,903	2024/3/6
	4.75 NEDER WATERS 230411	4.75	4,000	4,003	362,106	2023/4/11
	4.75 QUEENSLAND 250721	4.75	25,000	25,563	2,311,961	2025/7/21
合	計				45,964,683	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2023年3月8日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	45,964,683	96.9
コール・ローン等、その他	1,455,817	3.1
投資信託財産総額	47,420,500	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(47,068,127千円)の投資信託財産総額(47,420,500千円)に対する比率は99.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=90.44円		
--------------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年3月8日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	47,420,500,084
コール・ローン等	719,051,170
公社債(評価額)	45,964,683,669
未収利息	444,495,278
前払費用	18,456,091
差入委託証拠金	273,813,876
(B) 負債	320,414,380
未払解約金	320,414,234
未払利息	146
(C) 純資産総額(A-B)	47,100,085,704
元本	39,358,587,715
次期繰越損益金	7,741,497,989
(D) 受益権総口数	39,358,587,715口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,967円

<注記事項>

- ①期首元本額 47,974,287,821円
 期中追加設定元本額 621,639,160円
 期中一部解約元本額 9,237,339,266円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.1967円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン	37,896,871,504円
三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン(年1回決算型)	1,461,716,211円
合計	39,358,587,715円

○損益の状況 (2022年3月9日～2023年3月8日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,744,250,054
受取利息	1,744,508,091
支払利息	△ 258,037
(B) 有価証券売買損益	878,413,007
売買益	4,136,880,548
売買損	△3,258,467,541
(C) 先物取引等取引損益	139,900,614
取引益	139,900,614
(D) 保管費用等	△ 4,509,786
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	2,758,053,889
(F) 前期繰越損益金	6,874,634,751
(G) 追加信託差損益金	132,113,639
(H) 解約差損益金	△2,023,304,290
(I) 計(E+F+G+H)	7,741,497,989
次期繰越損益金(I)	7,741,497,989

(注) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。